

5 「平成10年度生まれの者」と「昭和43年度生まれの者」（親世代）の年間発育量の比較

平成28年度調査で「平成10年度生まれの者」と、30年前の昭和61年度調査で「昭和43年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

(1) 身長（図9、図10、表7）

身長の年間発育量について「平成10年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、両世代とも12歳～13歳で、「平成10年度生まれの者」が7.8cm、親世代は7.2cmとなっています。女子では、「平成10年度生まれの者」が9歳～10歳で6.7cm、親世代は10歳～11歳で、7.1cmとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、両世代ともほぼ同じ時期となっています。

(cm) 図9 平成10年度生まれの者と昭和43年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・男子)

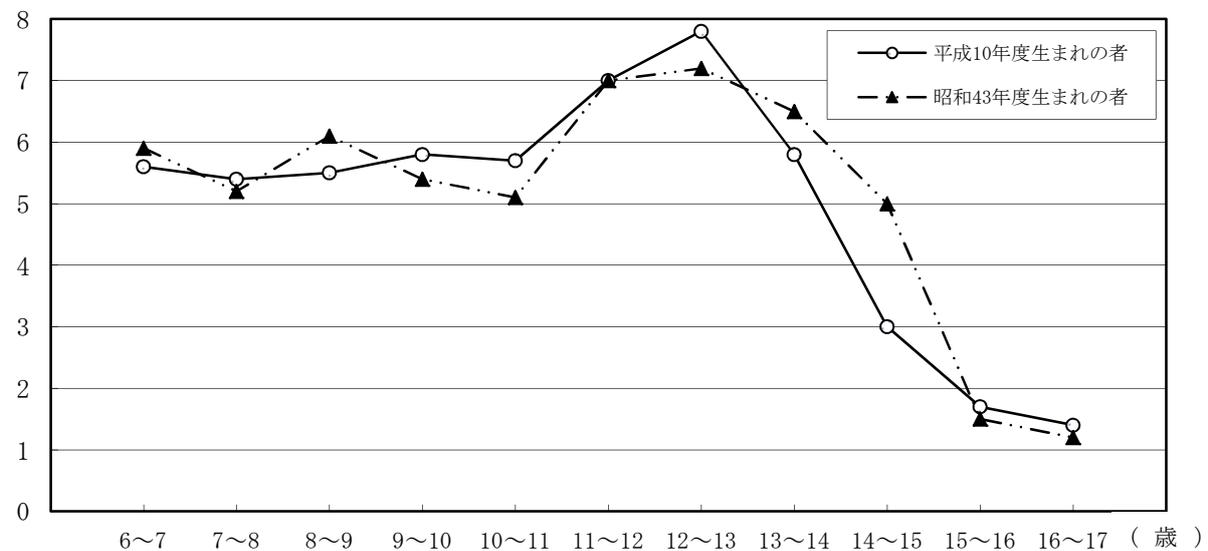
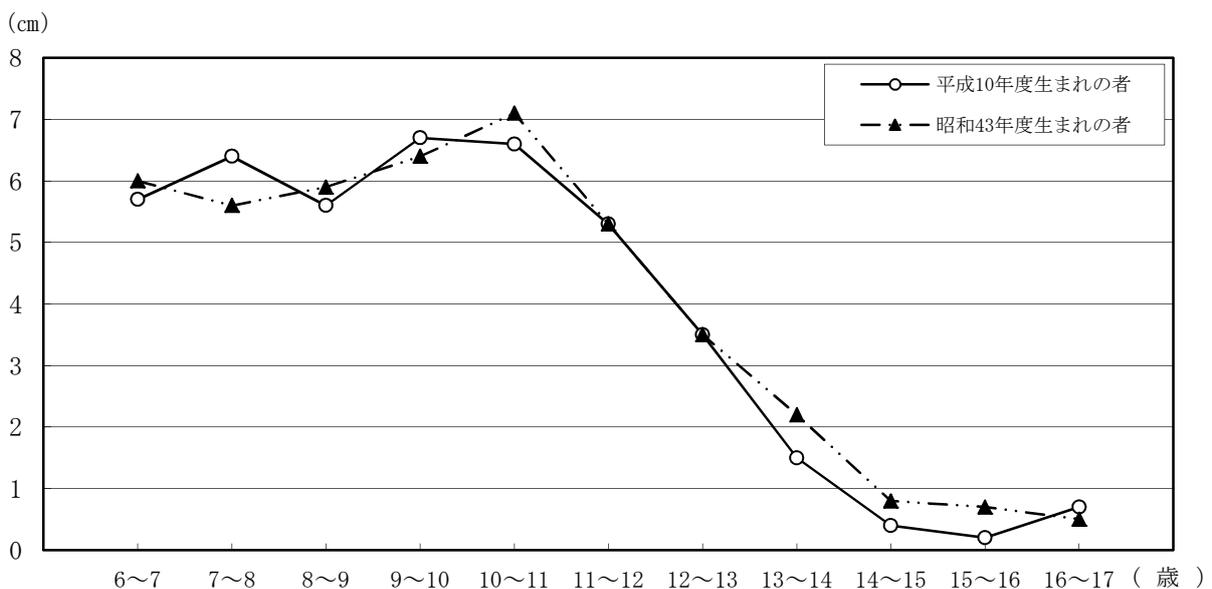


図10 平成10年度生まれの者と昭和43年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・女子)

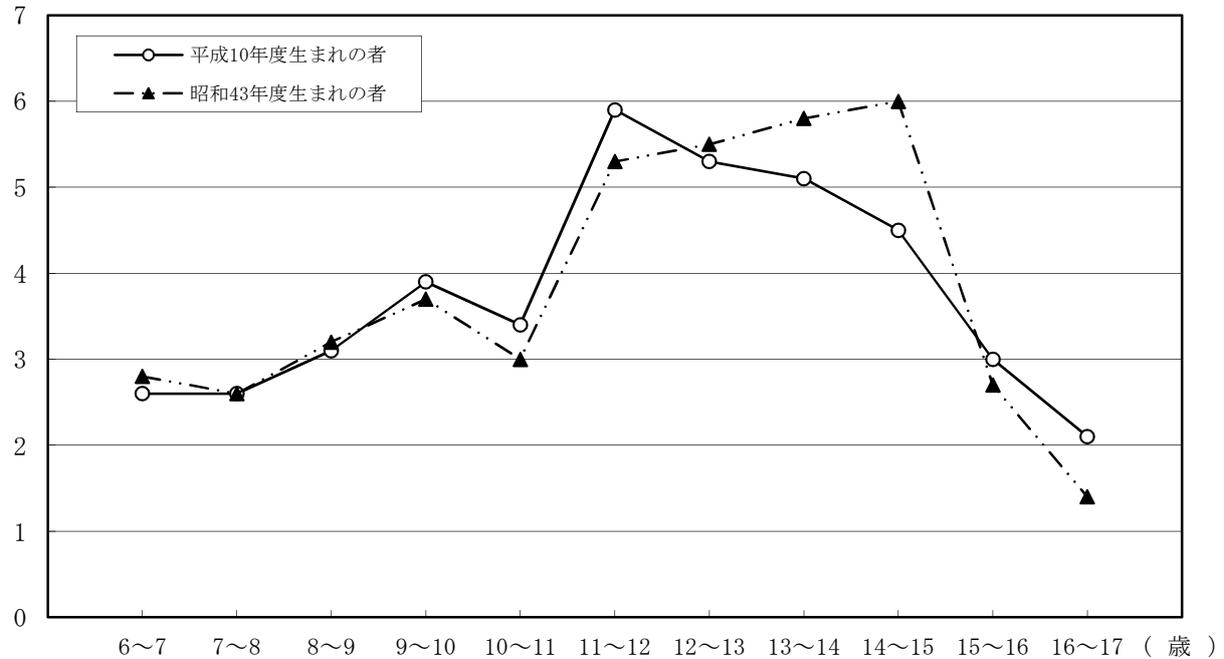


(2) 体重 (図11、図12、表7)

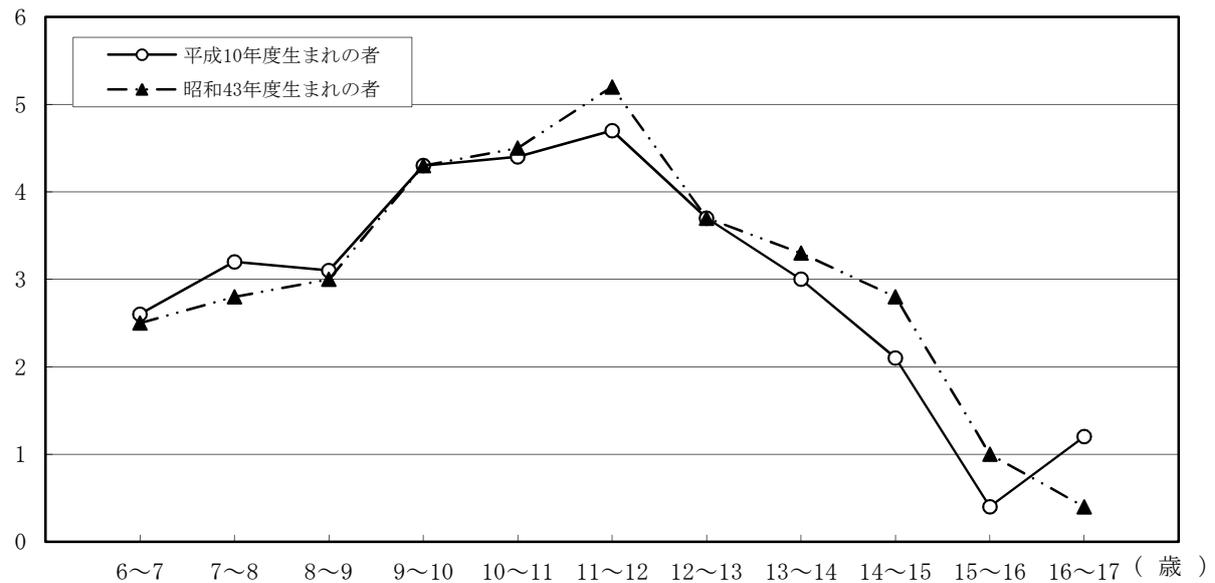
体重の年間発育量について「平成10年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成10年度生まれの者」が11歳～12歳で5.9kg、親世代は14歳～15歳で6.0kgになっています。女子では両世代とも11歳～12歳で、「平成10年度生まれの者」が4.7kg、親世代は5.2kgになっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では「平成10年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。一方、女子では両世代とも同じ時期となっています。

(kg) 図11 平成10年度生まれの者と昭和43年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・男子)



(kg) 図12 平成10年度生まれの者と昭和43年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較(表7)

身長の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成10年度生まれの者」が親世代よりも男子、女子ともに1.4cm小さくなっています。

また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成10年度生まれの者」が親世代よりも男子は0.5kg、女子は0.8kg小さくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、男子は小学校の時期は「平成10年生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。女子の発育量は、小学校の時期は同じで、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。

表7 「平成10年度生まれの者」と「昭和43年度生まれの者」(親世代)の年間発育量

区分	歳 時	身 長 (cm)				体 重 (kg)			
		平成10年度 生まれの者		昭和43年度 生まれの者		平成10年度 生まれの者		昭和43年度 生まれの者	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.6		5.9		2.6		2.8	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.4		5.2		2.6		2.6	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.5	35.0	6.1	34.7	3.1	21.5	3.2	20.6
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.8		5.4		3.9		3.7	
	10歳(小5)～11歳(小6)	5.7		5.1		3.4		3.0	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.0		7.0		5.9		5.3	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.8		7.2		5.3		5.5	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.8		6.5		5.1		5.8	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.0	19.7	5.0	21.4	4.5	20.0	6.0	21.4
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.7		1.5		3.0		2.7	
	16歳(高2)～17歳(高3)	1.4		1.2		2.1		1.4	
	11年間の総発育量	54.7		56.1		41.5		42.0	
	年間発育量の最も大きい年齢	12歳～13歳		12歳～13歳		11歳～12歳		14歳～15歳	
	女 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.7		6.0		2.6		2.5
7歳(小2)～8歳(小3)		6.4		5.6		3.2		2.8	
8歳(小3)～9歳(小4)		5.6	36.3	5.9	36.3	3.1	22.3	3.0	22.3
9歳(小4)～10歳(小5)		6.7		6.4		4.3		4.3	
10歳(小5)～11歳(小6)		6.6		7.1		4.4		4.5	
11歳(小6)～12歳(中1)		5.3		5.3		4.7		5.2	
12歳(中1)～13歳(中2)		3.5		3.5		3.7		3.7	
13歳(中2)～14歳(中3)		1.5		2.2		3.0		3.3	
14歳(中3)～15歳(高1)		0.4	6.3	0.8	7.7	2.1	10.4	2.8	11.2
15歳(高1)～16歳(高2)		0.2		0.7		0.4		1.0	
16歳(高2)～17歳(高3)		0.7		0.5		1.2		0.4	
11年間の総発育量		42.6		44.0		32.7		33.5	
年間発育量の最も大きい年齢		9歳～10歳		10歳～11歳		11歳～12歳		11歳～12歳	

- (注) ・年間発育量は、たとえば平成10年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成18年度調査の7歳の体格から平成17年度調査の6歳の体格を引いたものです。
 ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 ・平成10年度生まれの者とは、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者で、平成17年度調査の6歳、平成28年度調査の17歳です。
 ・昭和43年度生まれの者とは、昭和43年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた者で、昭和50年度調査の6歳、昭和61年度調査の17歳です。